

2011年3月18日

各位

森トラスト株式会社

## 「東北地方太平洋沖地震」被害に対する仙台での震災対応について

東北地方太平洋沖地震の被災者の方々、ご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

森トラスト株式会社(本社:東京都港区 社長:森 章)は、仙台市内に3棟(「仙台トラストタワー」「ザ・レジデンス一番町」「仙台MTビル」)の物件を管理運営しており、地震発生直後から今日に至るまで、仙台支店(宮城県仙台市 支店長:遠藤 信幸)、ウェスティンホテル仙台(宮城県仙台市 総支配人:福永 健司)と連携しながら、全力で緊急対策活動をしてまいりました。

震災発生後、4日目となる、3月14日までの現地の状況と弊社グループの取り組みについて、取り急ぎご報告します。

3月11日の地震発生にともない、弊社グループは、ただちに東京本部、仙台支店、ウェスティンホテル仙台と合同で「仙台震災対策本部」を設置し、各施設の人的・物的被害状況や地域の被災状況について、すみやかに情報の収集や共有を行い、同日18時には、仙台における弊社グループ関連施設の状況について森トラストのホームページにてご報告いたしました。

「仙台MTビル」がある仙台市宮城野区は震度6強、「仙台トラストタワー」「ザ・レジデンス一番町」を含む「仙台トラストシティ」がある仙台市青葉区は震度6弱という強い地震に見舞われましたが、「仙台MTビル」「ザ・レジデンス一番町」は免震構造、「仙台トラストタワー」は制震構造を採用していたこともあり、人命に関わる被害および大きな物的被害は認められないことが確認されました。

仙台市内では、震災直後からインフラ(電気・ガス)が供給停止となりましたが、「仙台トラストタワー」「ザ・レジデンス一番町」「仙台MTビル」の3棟は、非常用発電機が作動し、各ビルに一定の電力供給が行われました。そのため、「仙台震災対策本部」では、インターネット専用回線で(東京=仙台)間をつなぎ、電話回線での通信の確保が困難な中、効率的に情報の同時共有を行うことが可能となりました。

市内のインフラが回復しない中で、「仙台トラストタワー」「ウェスティンホテル仙台」「仙台MTビル」には、多くの帰宅困難な方々が来館されましたので、皆様の安全のために少しでもお役に立てればと思い、一時的な待機場所を開放いたしました。震災発生後4日目となる3月14日までの間、合計延べ約3,300名の方々の受入れを行い、各施設現地スタッフ(ホテル・オフィス営業・住宅営業・ビル管理の最大約160名/1日)にて不眠不休の対応をいたしました。「仙台トラストタワー」は、急遽5階会議室を臨時のインフォメーションセンターとして開放し、震災備品(水・かんぱん等)やテナント様からご協力いただいた食糧(パン・弁当等)を提供いたしました。「ウェスティンホテル仙台」では、帰宅困難な方々に客室の提供を4日間行い、ホテルロビーも一時避難場所として開放し、水

やパン・スープなどを提供いたしました。また、「仙台MTビル」では、帰宅困難な方々を2階空きフロアに誘導し、「仙台トラストタワー」同様に震災備品(水・かんぱん等)を提供いたしました。

「仙台トラストタワー」は、72時間の容量の非常用電源を備えていたものの、仙台市内の電力復旧見込みが立たない中では非常照明、非常用エレベーター等緊急対応の電力使用に限定せざるをえず、空調の使用が出来ないため、臨時のインフォメーションセンター等では、震災備品の毛布を配布することで、最低限の暖をとっていただくような状況にありました。また、来館される方が続々と増える一方で、市内の通信が混乱していたことから、情報をホワイトボードに記載することなどによって、来館の皆様を少しでも解消できるよう努めてまいりました。市内においては、携帯電話の充電場所不足という問題も生じていたため、3月12日以降は「仙台トラストシティ」の外構に携帯電話の充電場所を一般の皆様にご提供いたしました。

### 今後の取り組み

現在の被災地の状況は、公的機関や外部からの震災復興支援活動がより機能することが求められています。弊社グループは現在、災害復興支援活動を行う方々への協力支援に重点を置き、森トラストではオフィスフロアの一部を臨時にお貸しする対応を行っております。「ウェスティンホテル仙台」につきましては、ガス供給等のインフラが復旧し安全確認ができるまでの当面は営業を休止せざるをえず、スタッフやインフラの能力も限定的にはなっておりますが、できる限り公的機関や災害復興支援活動を行う企業様へのご対応をさせていただいております。現地スタッフをはじめスターウッドグループとも協力体制をとりながら、復旧にむけて全力で取り組んでおります。

昨年の「仙台トラストシティ」オープン時に、東北圏のランドマークとして温かい歓迎をして頂いた地域の皆さまのご期待に応えるべく、震災の渦中であって、弊社グループも微力ながら支援活動に協力させて頂いております。

今後は、国・県・市など行政各位ならびに一般市民の方々の支援活動とより一層連携をさせて頂きながら、一日も早い復興に向けて、引き続き弊社グループとしてできる限りの支援を実施してまいります。



ホワイトボードによる情報提供



携帯電話充電場所

## 資料

### 震災発生後の対応

3月11日	仙台震災対策本部設置
	臨時のインフォメーションセンター等にて帰宅困難な方々の受入を開始
	ホテル宿泊者および帰宅困難な方々に対して食糧等提供
	ホテルのロビー・宴会場でTV映像放送する等、情報提供を開始
3月12日	ホテル宿泊者および帰宅困難な方々に対し、食糧提供
	「ザ・レジデンス一番町」 電気復旧
	「仙台トラストタワー」 電気復旧
	臨時のインフォメーションセンターでTV・ラジオ等により情報提供を開始 「仙台トラストシティ」の外構で、 携帯電話の充電場所の提供開始。(約20台分)
3月13日	ラフォーレ蔵王から物資を応援スタッフ(5名)とともに輸送
	東京本部からスターウッドグループとともに物資を輸送
3月14日	ラフォーレ那須から物資を応援スタッフ(2名)とともに輸送
	東京本部から物資を応援スタッフ(8名)とともに輸送

# 資料

## 仙台トラストシティ概要

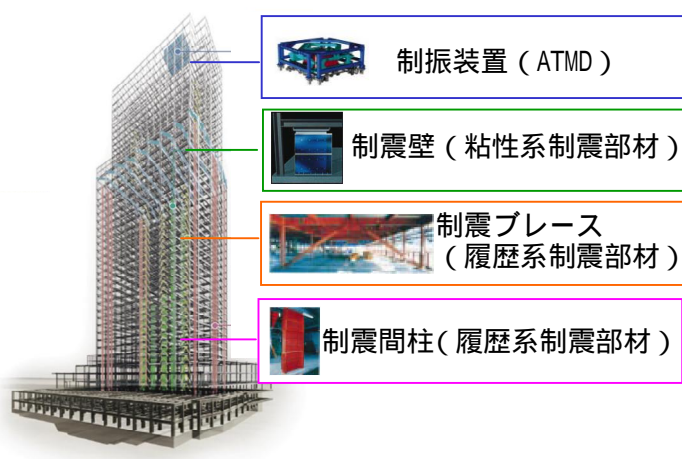
街区名称	仙台トラストシティ	
建物名称	仙台トラストタワー	ザ・レジデンス一番町
所在地	宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1	宮城県仙台市青葉区一番町1-9-2
敷地面積	13,550.52 m <sup>2</sup> (約 4,099 坪)	3,099.49m <sup>2</sup> (約938坪)
延床面積	125,295.96 m <sup>2</sup> (約 37,902 坪)	30,359.96 m <sup>2</sup> (約 9,183 坪)
階数	地上 37 階 地下 2 階 (最高高さ約 180m)	地上29階 地下1階 (最高高さ約100m)
主要用途	オフィス(6-24 階) ホテル(1-3 階、25-37 階) 店舗(1-5 階)	共同住宅 (分譲・賃貸) 総戸数(244戸)
竣工	2010 年 4 月	2010年6月
構造	鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造、制震構造	鉄筋コンクリート造、免震構造
設計	株式会社松田平田設計 大成建設株式会社一級建築士事務所 株式会社森村設計	株式会社松田平田設計 戸田建設株式会社一級建築士事務所
施工	(建築)大成建設株式会社 (電気)株式会社きんでん (衛生・空調)新菱冷熱工業株式会社	戸田建設株式会社

## 仙台トラストシティ主要設備

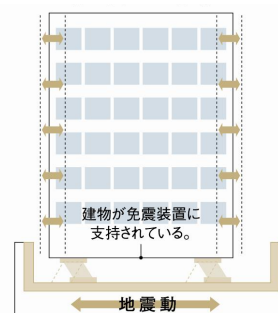
### ・耐震性能

仙台トラストタワー:ハイブリッド制震構造による最高水準の耐震性能を実現。一般の超高層建築物に求められる耐震性能の 1.5 倍の耐震性能を確保。

ザ・レジデンス一番町:大規模免震病院をはじめ、超高層集合住宅やホテルにも使われている免震を採用。



仙台トラストタワー制震構造



建物内に地震エネルギーを取り込む前に、免震装置が揺れを吸収するので、躯体に損傷が生じにくい。

ザ・レジデンス一番町免震構造

### ・非常用発電機

仙台トラストタワー:建物への電力供給が停止した場合でも、防災機器を中心に避難のため共用部照明とエレベーターを72時間稼働させることができる電力を確保。

ザ・レジデンス一番町:建物への電力供給が停止した場合でも、防災機器を中心に5時間の電力を確保。